サラフィナの声（1988）

VOICE OF SARAFINA!

メディア 映画
ジャンル ドキュメンタリー
製作国 アメリカ
色彩 Color
時間 84分
初公開日 1990/02/03
公開情報 朝日新聞社＝ヘラルド・エース提供／ヘラルド・エース＝ヘラルド

【解説】

南アの政治体制への黒人達の訴えを題材にしたミュージカル『サラフィナ』。本作はこの劇の名場面にスタッフ、キャストのインタビューを交えたドキュメンタリー作品である。基本的人権問題として世界の非難と注目を浴びている南アフリカ、アパルトヘイト人種隔離政策問題。作中の物語『サラフィナ』は、政治レベルの合法的行為として日々続けられるこの人種問題に対して、１９７６年ヨハネスブルグ郊外の黒人居住区ソウェトで起きた蜂起事件、そのきっかけとなったモリス・アイザクソン高校が背景となっている。その事件とは、その年の６月１６日１万５千人のソウェト高校生が南アの公用語、アフリカーンス語で授業を受けなければならないという政府の通達に抗議し、街頭デモを実施。結果、警官隊との衝突で２３人の子供が死亡、多数が負傷したというものである。このアフリカーンス語とは、南アの白人達が黒人達を支配する為に作った公用語であり、それに抗議した蜂起事件で、白人達は武器を所持していない黒人の高校生達に発砲、いたいけな少年少女が犠牲になっている。そしてささやかな糾弾として作ったのがミュージカル劇『サラフィナ』である。新進黒人劇作家ムボンゲニ・ンゲマはこれらの題材を、被害者的観点からではなく、むしろ、明るく陽気に、熱気が満ちあふれた形で描いている。本作はその劇を含む周りの人々のドキュメンタリーであり、出演人ほとんどが現地の人達ということもあって、南アの一市民としての切実な“ナマの証言”にはドキュメンタリー作品であるがゆえの説得力、そして迫力がある。

【クレジット】

監督 ナイジェル・ノーブル
製作 バーナード・ガーステン　Bernard Gersten
　　ナイジェル・ノーブル
撮影 ジョン・ハザート
出演 レレティ・クマロ　Leleti Khumalo

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.